

少し南下すると坊津（ぼうのつ）に着きます。リアス式の海岸で、双剣石（そうけんせき）などの奇岩を多く見ることができます。ここにも徐福伝説が残っています。ここから山に入った所に「がつい鼻」と呼ばれる岬があります。「がつい」は「がっかりする」の意味だそうです。何年も薬草を探し歩いたけれども見つからず、再び上陸地の坊津が見える岬まで戻ってきました。岬を越えて眼下の海を見ると自分が乗ってきた船がまだそこにあるのが見えました。それを見て疲れ果てて倒れてしまったのです。再び立ち上がることは出来なかったそうです。

坊津は古代の海上交通の要衝で、博多津（福岡県福岡市）、安濃津（三重県津市）と共に日本の三大港となっていました。海の流れが自然とここに船を運んだようです。徐福一行が立ち寄った場所でもあります。



坊津の港と双剣石（鹿児島県川辺郡坊津町）



長崎鼻及び龍宮神社

全国にたくさんある龍宮神社の一つで、浦島太郎と乙姫様が会った縁結びの神として祀られています。

案内板には龍宮は琉球と解説しており、興味深い。

浦島伝説は徐福伝説とも結びつきそうで面白い。

ここで倒れては先に続きません。元気を回復して再び船出したことにします。